

第4回定例会が開催されるにあたりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

都市間交流について

はじめに、都市間交流について申し上げます。

10月25日に藤枝市で開催された「フードスマイルフェスティバル in ふじえだ」に、市職員、観光協会、JA道央、民間事業者から7名が参加し、特産品を販売するとともに交流を深めました。

11月1日には、姉妹都市和木町において開催された「わき愛あいフェスティバル」に、市職員2名が参加し、交流を図って参りました。

また、11月3日に本市で開催された「えにわん産業祭」には和木町商工会青年部から3名、藤枝市から産業政策課長以下4名の職員の参加をいただき、それぞれの特産品を展示、販売する中で、恵庭市民との交流を図ったところであります。

さらに、姉妹都市職員研修派遣協定に基づき、9月初めから11月初めまで2か月間、職員交流として和木町へ職員1名を派遣し、職務に当たるとともに交流を深めたところであります。

今後におきましても、意義のある都市間交流をさらに推進して参ります。

恵庭市総合教育会議について

次に、恵庭市総合教育会議について申し上げます。

11月4日に第2回総合教育会議を開催し、教育行政の諸問題等に対し、自由に活発な意見を交わすとともに、次期教育大綱の策定に向けた意見交換を行ったところであります。

総合教育会議では、恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくりの実現に向け、教育の方向性をしっかりと導き出し、教育の充実・向上に努めて参ります。

庁舎改修工事の完了について

次に、庁舎改修工事の完了について申し上げます。
平成26年度から2か年で実施しておりました改修工事が無事完了いたしました。
庁舎改修工事は、耐震化及び老朽化対策に加えて、屋外スロープの改修などのバリアフリー対策や災害対策本部機能の移設などの工事を実施いたしました。
工事期間中は、来庁された市民の皆様に、不自由な思いをさせたことにお詫び申し上げるとともに、ご理解ご協力いただきましたことに改めてお礼申し上げます。

恵み野北5丁目地区整備事業について

次に、恵み野北5丁目地区整備事業について申し上げます。
恵み野北5丁目の用地については、恵庭市総合戦略に位置付けられた「移住定住促進」を図るとともに、恵み野らしい住環境整備を目指すこととしております。
用地の売払い方法については、「プロポーザル方式」により土地買受事業者を決定するため、審査会を設置し取り進めているところであります。
なお、用地については、恵庭市振興公社の所有であることから、用地取得及び補正予算案については、別途、提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

第5期恵庭市総合計画の策定について

次に、第5期総合計画の策定について申し上げます。
第5期総合計画は、昨年度より、様々な場を通して多くの市民の方々からご意見をお聞きする中で、策定に向けた取り組みを行い、その後総合計画審議会において、5回の審議会と12回の専門部会の慎重な審議を経て、11月9日に答申をいただきました。
本計画基本構想(案)については、別途、議案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願いを申し上げます。

恵庭市総合戦略・人口ビジョンの策定について

次に、恵庭市総合戦略・人口ビジョンの策定について申し上げます。

10月21日に第3回恵庭創生懇談会を開催し、恵庭市総合戦略案、恵庭市人口ビジョン案をお示しし、ご意見を伺いました。

ここでのご意見をもとに検討を重ね、10月30日に内閣府へ提出しました。

このことによりまして、第3回定例会にて議決いただいております地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の上乗せ交付分が交付決定されました。

今後総合戦略を推進していくため、議員の皆様には施策の効果検証など、宜しくご審議くださいますようお願い申し上げます。

マイナンバー制度について

次に、マイナンバー制度について申し上げます。

本年10月5日に施行されました「マイナンバー制度」につきまして、本市においても11月初旬から個人番号を記載した通知カードを市民に簡易書留で郵送しております。

来年1月以降、税や社会保障、災害対策の分野で利用されることとなりますが、制度の内容や保管等の取り扱いのほか、マイナンバー制度をかたった詐欺事件も全国で発生していることから、市民が被害に遭わないよう市広報誌や出前講座等で十分周知に努めて参ります。

住居表示の実施について

次に、住居表示の実施について申し上げます。

「わかりやすいまちづくり」を推進するために住居表示に関する法律に基づいた住居の表示を実施していますが、本年10月11日に柏木町地区市街化区域のうち、昨年未実施だった19ヘクタールについて実施しました。

実施地区については町名を「柏木町」から「柏木町4丁目・5丁目」に変更し、23街区に分割して整備したところであります。

ごみ焼却施設基本
計画（案）の答申に
ついて

次に、ごみ焼却施設基本計画（案）の答申について申し上げます。
焼却施設の整備に向け、昨年度より施設周辺の環境を調査する生活環境影響調査や焼却施設の基本的な考え方を示す基本計画の策定を進めてきたところであります。

長期にわたって安全で安定的、かつ、確実な処理ができる施設の整備にあたり、焼却施設の考え方、環境対策さらには配置計画等具体的な条件整理などの検討を行う必要から、附属機関であります廃棄物減量等推進審議会に諮問し、ご審議いただき、10月22日に答申を頂いたところであります。

今後は、答申を基に当焼却施設基本計画策定を進め、平成32年のごみ焼却施設稼働を目指して事業を進めて参ります。

農業振興について

次に農業振興について申し上げます。

今年の耕作期間の気象は、気温は寒暖の差が大きかったものの総じて平年より高く推移し、また、降水量は、6月や8、9月にまとまった降雨があり、10月には暴風と一部降雹がありましたが、大きな農業被害には至りませんでした。

作況につきましては、水稻及び小麦が、収量及び品質ともに良好で平年以上となるとともに、他の農作物につきましても概ね良好でした。

また、市営牧場の運営状況につきましては、5月20日に酪農家18戸から216頭の育成牛を受け入れ、10月21日までの155日間にわたり放牧を行ったところであります。

この間、大きな事故もなく、良好に増体した牛を生産者に引き渡すことができました。

T P P 協定交渉の
大筋合意を踏まえ

次に、T P P 協定交渉の大筋合意を踏まえた対応について申し上げます。

た対応について

T P P 協定交渉は、10月5日に交渉参加12ヶ国の閣僚会合において大筋合意に至りました。

当市では、水稻や小麦などの畑作、園芸、酪農畜産など多様な農業が展開されており、この度のT P P 協定交渉の大筋合意の結果、輸入農産物の増大など農業のグローバル化が進展すれば、当市の基幹産業である農業においても少なからず影響あるものと懸念しているところでありま

す。
このため、現状では具体的な影響額などは明確になっておりませんが、今後とも、当市の農業・農村が持続的に発展していくよう、農業関係機関・団体が一体となって取り組んでいくため、11月9日に恵庭市農業振興対策協議会を開催して、T P P 協定交渉の大筋合意を踏まえた対応について話し合ったところでありま

す。
協議会では、T P P 協定交渉の大筋合意の情報等について関係者間で共有するとともに、農業者の不安・懸念の払拭をはじめ、当市の農業がこれまで以上に消費者に信頼される付加価値の高い農産物づくりに取り組めるよう、また、意欲ある農業者が夢と希望を持って安心して再生産に取り組めるよう、万全な対応を国に要請していくことなどを確認したところでありま

す。
市としましても、今後とも当市の農業が力強く展開できるよう、協議会と一体となってしっかりと取り組んで参ります。

恵み野商店街の「緑の環境デザイン賞」の受賞について

次に恵み野商店会の「緑の環境デザイン賞」の受賞について申し上げます。

恵み野商店会では、平成26年度から今年度にかけて、市が行っている商店街沿道の歩道バリアフリー改修工事や駐車帯、照明灯の設置などの整備に併せて、既存の花壇を改修し、「ガーデンギャラリー」として個性的なガーデンが並ぶ彩りのあるメインストリートを創出する取組みを

自主的に進めているところであります。

この度、恵み野商店会が、この取組みについて、公益財団法人都市緑化機構と第一生命株式会社が主催する「緑の環境デザイン賞」に応募したところ、全国27点の作品のうち、最高賞の国土交通大臣賞を受賞することとなり、11月9日に表彰状を授与されたところであります。

恵み野商店会の主体的なまちづくりの取組みが国土交通大臣賞という形で全国的に高く評価されることは、大変喜ばしいことであり、この受賞を契機として、さらに恵み野商店会の活性化につながることを期待しているところであります。

恵庭溪谷紅葉バスめぐりについて

次に、恵庭溪谷紅葉バスめぐりについて申し上げます。

本事業は、恵庭溪谷を市内外の皆様により一層知って頂く機会として、また、溪谷まで足を運べなかった市民の皆様への機会の提供として、昨年から実施しているところであります。

10月9日の初日は、台風の影響で運行を中止しましたが、10日から12日までの3日間、市内JR3駅から恵庭溪谷の白扇の滝までの間を、1日5便のバスを運行し、333名の参加をいただいたところであります。

バスめぐりでは、ボランティア「花ガイド」の皆さんにガイド役を担っていただくとともに、白扇の滝では、「えにわマルシェ」の美味しいコーナーを昨年の倍に増やすなど飲食や物販の充実を図りました。

参加者へのアンケート調査の結果では、約9割の方から「満足した」との回答しており、また、旅行事業者の紅葉ツアーのコースにも組み込まれるなど、この取組みを通じて「恵庭溪谷」の魅力・認知度の向上が図られてきていると考えています。

産業祭の開催につ

次に、産業祭の開催について申し上げます。

いて

「えにわん産業祭」は、これまでの「えにわ食農交流フェスタ」に、ものづくりに携わる工業系企業の技術紹介を加えるなど、市内の様々な産業と企業の活力を市内外に広く紹介し、地域経済活性化につなげることを目的として、11月3日、恵庭市総合体育館において開催しました。

産業祭は、市内の企業や関係機関・団体等をはじめ、姉妹都市である山口県和木町、産業交流を進めている静岡県藤枝市など合わせて43の企業・団体の方々に出展いただきました。

各ブースでは、それぞれの特徴を活かした商品の展示・販売や、職業体験などを通じた事業PRが行われました。

また、市内の大学や専門学校、高校関係者の参加協力のもと、日頃の学習成果を発表するステージイベントも行われたところであります。

当日は、好天に恵まれ、市内外の大人から子どもまで約5,000人の来場があり、市内の産業に直接触れ、出展者と交流することで、市内産業への理解と関心を大いに深めていただけたと考えています。

恵庭駅西口駅前広場の供用開始について

次に、恵庭駅西口駅前広場の供用開始について申し上げます。

昨年度より、工事に着手しておりました恵庭駅西口駅前広場は、本年予定されていた工事を終え、10月6日に全面的に供用を開始したところであります。

この広場の完成により、交通結節点として駅利用者の利便性の向上や駅前通りとしての賑わいの創出に繋がるものと考えております。

島松駅周辺整備事業について

次に、島松駅周辺整備事業について申し上げます。

島松駅周辺整備事業につきましては、駅周辺整備と駅関連施設のバリアフリー化を一体的に整備するという基本方針を改め、鉄道事業者が主体的に行う、鉄道施設のバリアフリー化の整備を進めていただく要望・協議へ転換することを、第3回定例会で報告させていただいたところで

あります。

10月13日には、島松町内会連合会から「JR島松駅バリアフリー化早期促進」の要望書をいただきました。

10月19日には、住民説明会を開催し、直接、報告とお詫びをさせていただきます。

この中で多くの皆様から、駅施設のバリアフリー化の早期実現の要望をいただきましたことを、先にいただいた要望書とともに、その思いを重く受け止め、早期バリアフリー化の実現に向け、鉄道事業者と鋭意協議を進めて参ります。

以上、はなはだ簡単ですが第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。